

## レーザー顕微鏡研究会講演会論文集執筆規定

1999年3月

- 1) 論文集は、執筆者より提出された原稿をそのままコピーして印刷しますので、ワープロ、パソコン等で明瞭に書いて下さい。なお、pdf型式で入稿できる方はメール添付でお送り頂いても構いません(容量にはご注意下さい。上限の目安は3Mです。また、pdf化した後印刷してみて問題ないことも確認して下さい)
- 2) 原稿の大きさは、A4サイズ(210 x 296 mm)で、周囲は3cmの余白を残して下さい。
- 3) ページ数は、最大で8ページです。
- 4) 表題、所属、氏名は、邦文と英文を併記して下さい。連名の場合、\*印等で対応関係をはっきりさせて下さい。
- 5) アブストラクトは、本文の前に邦文のみ、もしくは邦文と英文を併記して下さい。なお、邦文アブストラクトは、JICSTにそのまま抄録されます。(下記の参考例を参照)
- 6) 本文のフォーマットは自由です。ただし、行間を字間より大きく取る、図中の文字は小さすぎないか等読み易さを心がけて下さい。
- 7) 参考文献は、本文中に上付の通し番号1)、2)・・・で示し、原稿の最後にまとめて参考文献としてお示し下さい。参考文献の書き方は、標準的な書き方(氏名:雑誌名、巻、頁、(発行年))で結構です。
- 8) 原稿の締切は、印刷製本の時間的制約があるため厳守をお願いします。

### 表題・アブストラクト参考例

#### コヒーレンス・プローブ顕微鏡による3次元観察と物質分析

Surface profile measurement and material identification with coherence probe microscope

大阪大学工学部応用物理学科

松為久美子、河田 聡

Kumiko Matsui and Satoshi Kawata

Department of Applied Physics, Osaka University

コヒーレンス・プローブ顕微鏡を用いて、ナノメートルオーダの微細表面形状測定と物質分析を一回の測定で同時に行う方法を提案する、この方法では、二光束干渉顕微鏡の光源として白色光を用い、ピエゾステージを用いて試料を光軸方向に走査しながら、複数枚の干渉画像をコンピュータに取り込む。そしてコンピュータ内で各画素毎に零光路長差位置を検出することにより、表面高さ分布を再構築する。物質を同定するには、各画素毎の白色干渉縞をフーリエ変換して得られる反射スペクトルや位相スペクトルを用いるか、または白色干渉縞同士の相互相関値を利用する。講演では、本システムの原理と、表面形状測定および物質分析の実験例について